

H29.07.26 北区地域リハビリテーションネットワーク講演

区西北部地域リハビリテーション
支援センターとしての取り組み
— これまでと今後の効果的な連携に向けて —

公益財団法人 東京都保健医療公社豊島病院

リハビリテーション科 中島 英樹

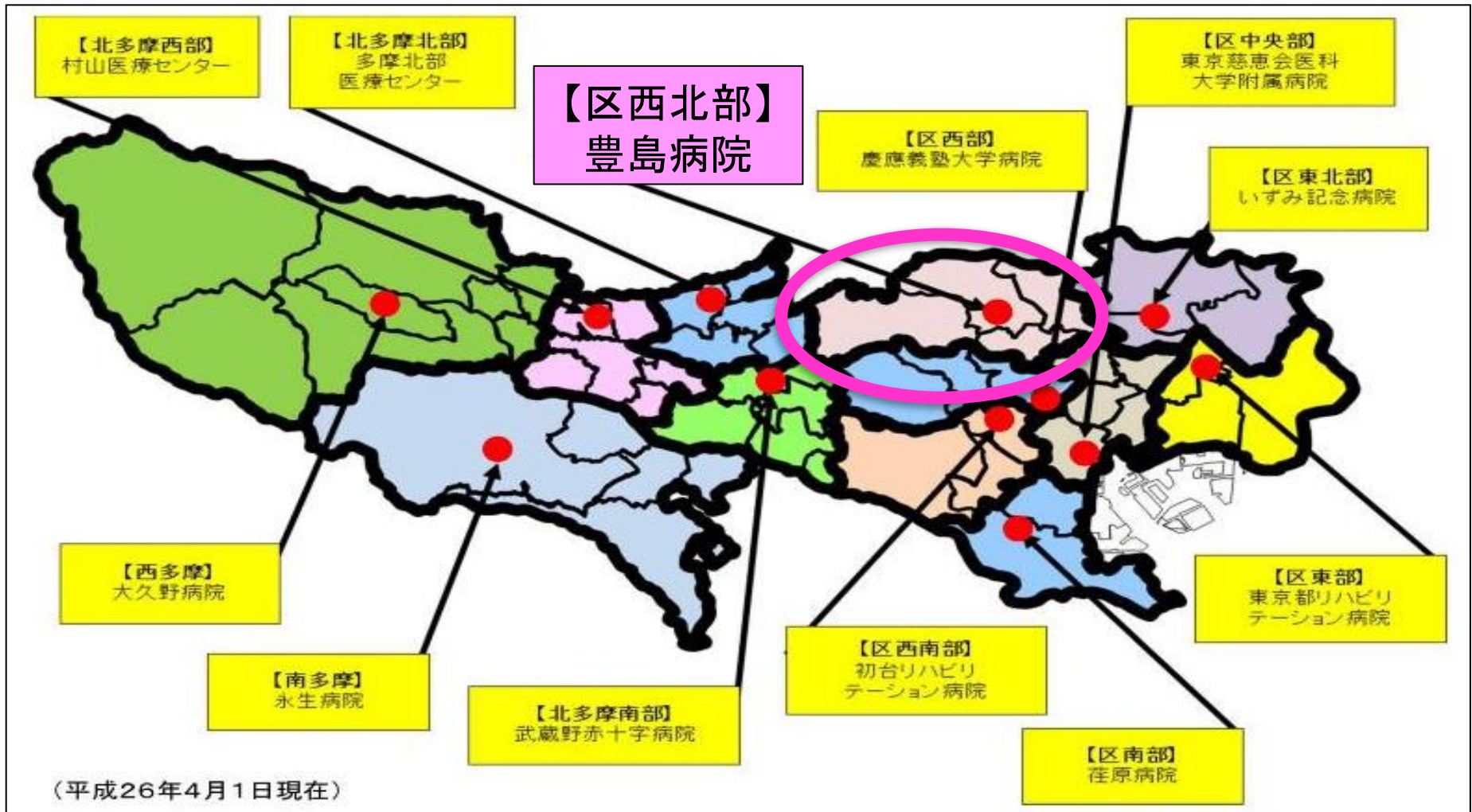
今回のお話

- 地域リハビリテーション支援センターとは？
- 地域リハビリテーション支援センターのこれまでの取り組み
- 板橋区における取り組みの紹介
- 地域リハビリテーション支援センターの今後の活動
- 生活期におけるリハビリテーション医療の一例
痙縮に対するボツリヌス療法

地域リハビリテーション支援センターとは

- 東京都が二次保健医療圏ごとに指定
- 地域において、さまざまな形態で実施されているリハビリテーション事業を支援し、保健・医療・福祉間の連携の促進を図ることを目的。
- 豊島病院は平成16年10月、区西北部二次保健医療圏（豊島区、北区、練馬区、板橋区）の地域リハビリテーション支援センターの指定を受ける。

地域リハビリテーション支援センター



指定に関しては、3年毎に、選定委員会が開催され、検討される

地域リハビリテーション支援センターの役割

必須の役割

- 地域リハ提供体制の強化
- 訪問・通所リハの利用促進
- 地域リハ関係者の連携強化
- 若手PT・OTの実務研修受入

選択する役割(地域の実状による)

- 区市町村による在宅リハ支援事業への支援
- 脳卒中医療連携推進事業への支援
- 高次脳機能障害リハ事業への支援
- 介護予防における地域リハ促進事業への支援
- 地域でのニーズの高いテーマに関する研修等

区西北部地域リハビリテーション 支援センター事業

地域リハビリテーションに携わる**関連職種**の**レベルアップ**、医療、福祉間の**効果的な連携**に向けての支援を行う目的で以下の事業を実施

1.地域リハビリテーション提供体制の強化

- 事例発表検討会の開催
- 研修会の実施・支援

2.訪問・通所リハビリテーションの利用促進

- ケアマネジャー研修会等の開催

3.地域リハビリテーション関係者の連携強化

- 会議の開催・参加、連絡会等への参加

4.若手PT・OTの実務研修受け入れ

5.その他

- リハビリ相談、リハビリ出前相談
- リハ・マップ(ウェブサイト)の作成
- 板橋区脳卒中懇話会リハビリテーション部会への関与
- 高次脳機能障害支援普及事業
- 介護予防における地域リハビリテーション促進事業

区西北部地域リハビリテーション 支援センター協力施設(平成27年度迄)

区西北部二次医療圏全域において、より充実した事業展開を図るために、各区に協力していただける施設を指定。

- 豊島区：東京都立大塚病院
- 北区：東京北社会保険病院(現 東京北医療センター)
- 練馬区：順天堂大学医学部練馬病院
- 板橋区：板橋区おとしより保健福祉センター

区西北部地域リハビリテーション 支援センター協力施設(平成28年度～)

区西北部二次医療圏全域において、より充実した事業展開を図るために、28年度再指定。

- 豊島区 : 長汐病院
- 北区 : 東京北医療センター
大橋病院
- 練馬区 : 辻内科循環器科歯科クリニック
練馬駅リハビリテーション病院
- 板橋区 : 竹川病院
板橋区おとしより保健福祉センター

区西北部地域リハビリテーション 支援センターホームページ

<https://www.toshima-hp.jp/riha-center/index.html>



The screenshot shows the homepage of the Rehabilitation Support Center. At the top left, the text reads "区西北部地域リハビリテーション支援センター" (Northwest District Rehabilitation Support Center) and "東京都保健医療公社豊島病院" (Tokyo Metropolitan Health and Medical Public Corporation Toshima Hospital). On the top right, there are two buttons: "ログイン" (Login) in an orange box and "新規会員登録" (New Member Registration) in a blue box. The main content area features a green background with a leaf pattern and the text: "区西北部二次保健医療圏（豊島区・北区・板橋区・練馬区）地域リハビリテーションの充実を目指して" (Aiming for the improvement of regional rehabilitation in the Northwest District Secondary Health Care Area (Toshima City, Kita City, Itabashi City, Nerima City)). At the bottom, there is a green navigation bar with five items: "HOME", "支援センターについて" (About the Support Center), "リハマップ・研修・相談 (会員専用)" (Rehab Map, Training, Consultation (Member Only)), "参考資料ダウンロード" (Reference Material Download), and "お問い合わせ" (Contact Us).

会員専用ページでは、「区西北部リハ・マップ」による地域リハビリテーション実施施設の検索や、出張研修会・リハビリ出前相談の申込みなどがご利用いただけます。

区西北部地域リハビリテーション支援センター直通電話
03-5375-1212(豊島病院地域医療連携室直通)

講演会・事例発表検討会

地域のリハビリや介護に関連する施設で従事する方の職種間、事業所間のコミュニケーション、情報交換の機会となることを期待して企画。

- 平成17年から、板橋区を中心に、板橋区おとしより保健福祉センターとともに「高齢者・障がい者の生活支援に関するいたばし事例検討会」を開催。
- 平成20年から、対象地域を区西北部全体に拡大し、名称を「生活支援に関するリハ・ケア事例検討会」に変更し開催。4区協同開催とし、各区持ち回りで企画。
- 実行委員会：4区からリハビリテーション関連団体の代表など

「リハ・ケア事例検討会」を行うにあたっての連携

PT,OT,ST連絡会
ケアマネージャー研究協議会
訪問介護従事者研究協議会
通所介護連絡協議会
地域包括支援センター

板橋区

・おとしより保健
福祉センター

実行委員会

区西北部地域
リハビリテーション
支援センター
(豊島病院)

障害者福祉センター
リハビリネットワーク
通所サービス事業者連絡会

北区

・健康福祉部
高齢福祉課

練馬区

・福祉部高齢
社会対策課
・石神井総合
福祉事務所

MSW
・東京都医療
社会事業協会
第3ブロック

豊島区

・保健福祉部
高齢者福祉課
・心身障害者
福祉センター

リハビリテーション従事者連絡会
ケアマネージャー連絡会
訪問看護ステーション連絡会

生活支援に関するリハ・ケア事例検討会

日時	テーマ	場所	基調講演	事例	他
H20. 12.20	異なる職種の支援内容を 知ろう！ ～困難事例に取り組む新 たな発想～	板橋区 グリーン ホール	「終末期リハビリテーション ～最期まで介護予防の思想を～」 茨城県立健康プラザ管理者 大田仁史	8題	各区の地域 リハ・ケア に関する 取組み
H21. 12.12	維持期のリハを考える： Change！その人らしく	北 とぴあ	「維持期から当事者の主体的参加 を考える～通所リハビリを中心に～」 桜新町リハビリテーションクリニック 中島鈴美	8題	各区の地域 リハ・ケア に関する 取組み
H22. 12.11	生活を楽しむリハビリ テーション ～あなたは夢を持ってい ますか？夢に近づいてい ますか～	練馬区 公民館 ホール	「生活できる能力の再発見 ～夢のみずうみ村の取組み～」 NPO法人「夢の湖舎」理事長 藤田 茂	4題	
H23. 12.10	つなげる ひろげる ささえあう 高次脳機能 障害者の支援	帝京平成 大学池袋 キャン パス	誰にでもわかる高次脳機能障害者 への生活支援のポイントとその効果 帝京平成大学大学院臨床心理学 研究科教授 中島恵子	4題	

生活支援に関するリハ・ケア事例検討会

**生活支援に関する
リハ・ケア事例検討会**

チームで取り組む認知症ケア



日時
平成24年12月22日(土) 13:30~16:30

場所
板橋区立グリーンホール

主催：区西北部地域リハビリテーション支援センター（豊島病院）
板橋区・豊島区・北区・練馬区

日時：平成24年12月22日(土)

13:30~16:30

場所：板橋区立グリーンホール

テーマ：

チームで取り組む認知症ケア

基調講演：

「認知症の人の暮らしを支える
地域包括ケアシステム」

東京都健康長寿医療センター研究所

研究部長 栗田 主一先生

事例発表・意見交換：

リハビリテーション・介護従事者 4名

生活支援に関するリハ・ケア事例検討会

生活支援に関する リハ・ケア事例検討会

「食べたい」の気持ちに寄り添って

～摂食・嚥下障害のチームでの取り組み～



日時

平成25年11月30日(土) 13:30～16:30

場所

北区滝野川会館大ホール

主催：区西北部地域リハビリテーション支援センター（豊島病院）
板橋区・豊島区・北区・練馬区

日時：平成25年11月30日(土)

13:30～16:30

場所：北区滝野川会館

テーマ：

「食べたい」の気持ちに寄り添って
～摂食・嚥下障害のチームでの取り組み～

基調講演：

『『食べたい』気持ちに寄り添って

～摂食・嚥下障害における地域での取り組み～』

医療法人社団つくし会 新田クリニック

院長 新田 國夫 先生

事例発表・意見交換：

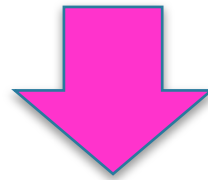
リハビリテーション・介護従事者 5名

参加者：141名

4区協同開催の変更

各区持ち回りでの企画、開催というのは、区の負担が多く、継続困難であるとの意見あり。

平成26年以降については、各区の意見を聞きながら開催方法を検討することにした。



平成26年度は、豊島病院と板橋区おとしより保健福祉センターの共催にて開催。

名称を「生活期のリハ・ケア推進シンポジウム」とした。

生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

日時：平成27年2月21日（土）

13:30～16:30

場所：豊島病院

テーマ：

地域における高齢者の居場所と出番づくり
～活動・参加を高めるために～

基調講演：：

三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長
長谷川 幹 先生

シンポジウム：

- ・ケアマネジャーとして
- ・通所でのリハビリで活動・参加を高めるために
- ・訪問の立場から
- ・失語症者の社会参加
～失語症会話パートナー養成と活動支援

参加者82名

生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

地域における高齢者の居場所と出番づくり
～活動・参加を高めるために～

平成27年2月21日（土） 13:30～16:30

豊島病院 8階 研修室

生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

平成27年度
生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

高齢者の居場所と出番づくり

～地域の自助・互助力を高めるために～

平成28年2月13日(土) 13:30～16:50
豊島病院 8階 研修室

共催：板橋区・区西北部地域リハビリテーション支援センター(豊島病院)

日時：平成28年2月13日(土)

13:30～16:30

場所：豊島病院

テーマ：

「高齢者の居場所と出番づくり
～地域の自助・互助力を高めるために～」

基調講演：

首都大学東京 健康福祉学部

作業療法科 教授 小林 法一 先生

シンポジウム：

「地域リハの推進に向けて」

医師会、訪問看護、行政、通所リハの立場
からの発表

参加者64名。

生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

日時:平成28年11月12日(土)

13:30~17:00

場所:板橋区グリーンホール2Fホール

テーマ:

高齢者の活動・参加を高めるために!
~リハ・ケア職に求められる地域貢献・地域連携~

基調講演1:

「生活期に携わるリハ・ケア職に期待すること」
板橋区医師会 会長 水野 重樹 先生

基調講演2:

「住民のサロン活動とリハ・ケア職の連携に期待すること」
板橋区社会福祉協議会
社会福祉士・精神保健福祉士 門脇 健二 氏

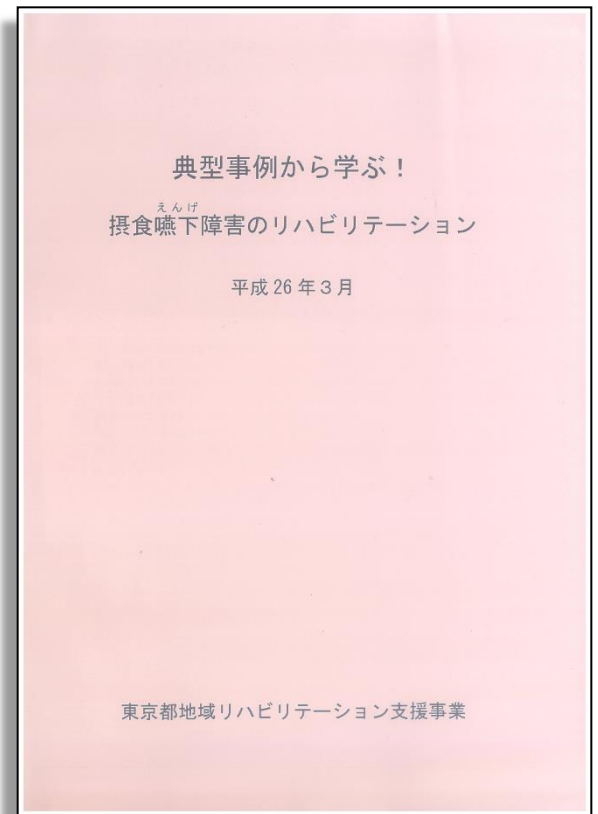
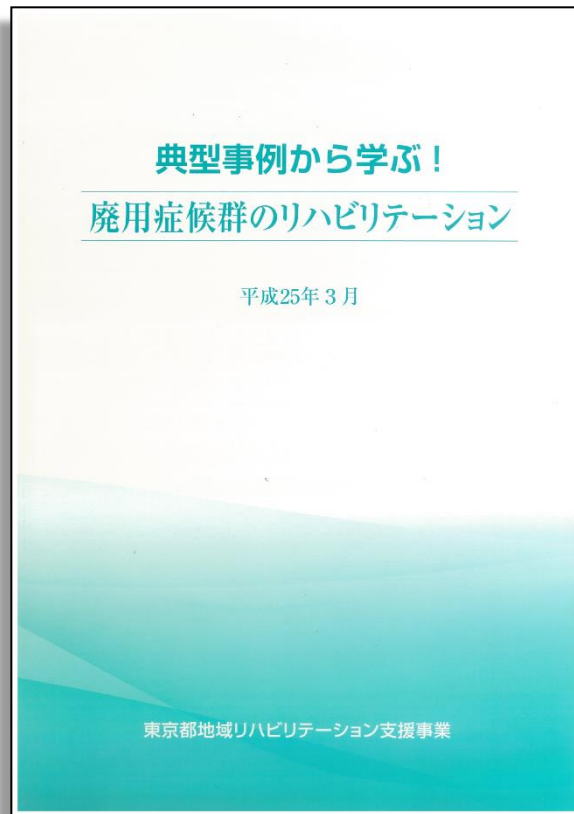
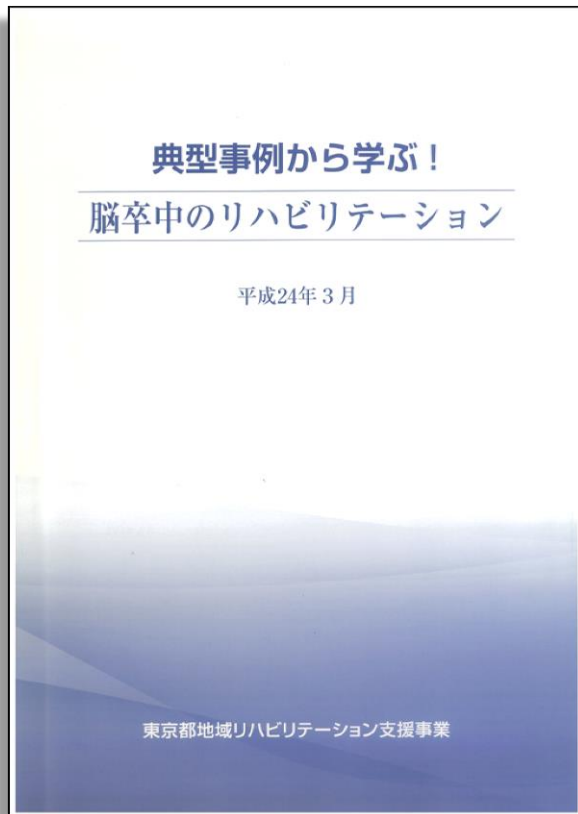
実践事例報告:

リハビリテーション・介護従事者 5名
参加者82名



ケアマネジャー研修会

東京都リハビリテーション協議会にて研修用テキストを作成



ケアマネジャー研修会(他)

●「高齢者に多い整形外科疾患のリハビリテーション」(板橋区)

講師:リハ科医師・理学療法士

平成28年 1月20日板橋区グリーンホール

●「知っておきたい! 心疾患のリハビリテーション」(板橋区)

講師:リハ科医師・理学療法士

平成28年 7月27日板橋区グリーンホール

●「高次脳機能障害を知る」(練馬区)

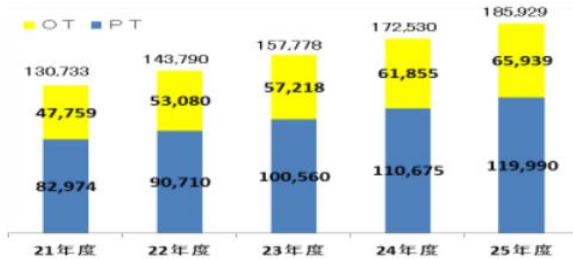
講師:リハ科医師・作業療法士・言語聴覚士

平成28年 9月16日練馬区合同庁舎

若手のPT・OTの実務研修

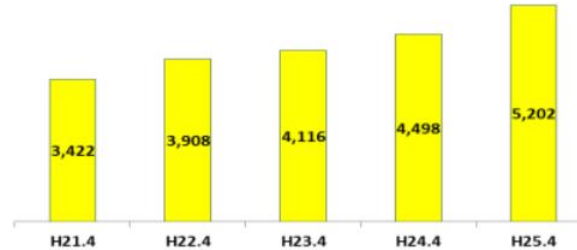
医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実に向け、リハビリに係る取組を進めていくため、近年増加傾向にある**若手リハビリテーション従事者が実務経験を積める育成体制を整備し、質の向上、底上げを図る**

○有資格者数は一貫として増加傾向



(資料) PT：日本理学療法士協会HP
OT：作業療法白書2010、
広島県作業療法士会HP等

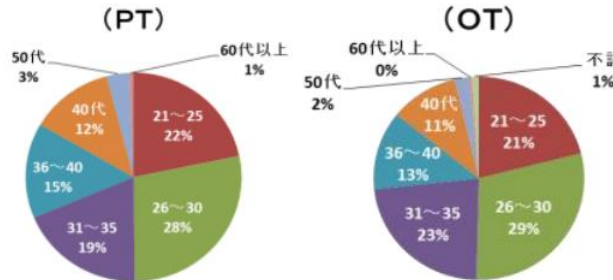
○都内回復期リハ病床数も順調に増加



(資料) 医療政策課調べ (関東信越厚生局に照会)

○年齢構成を見ると20代が全体の約5割

(資料) PT：日本理学療法士協会 (26.6時点)
OT：作業療法白書2010 (22年度)



○各種団体等が実施している育成研修は、
症例検討会等の**座学中心の研修が多数**

研修対象は、実務経験1~5年のPT・OT

【H27年度 実施】

区東部：
東京都リハビリテーション病院
区西南部：
初台リハビリテーション病院
北多摩西部：
村山医療センター

【H28年度 実施】

4圏域で追加実施
区西部：
慶応義塾大学病院
区西北部：
豊島病院
西多摩：
大久野病院
北多摩北部：
多摩北部医療センター

若手PT・OT実務研修受入れ：豊島病院

【研修テーマ】

急性期病院での多岐にわたる疾患に対する知識とリハビリテーションを学ぶ

【期間】

平成28年10月3日(月)～10月17日(月)の全10日間 PT3名、OT1名の計4名
平成28年11月7日(月)～11月18日(金)の全10日間 PT4名、OT1名の計5名
平成28年12月5日(月)～12月16日(金)の全10日間 PT4名、OT2名の計6名

【研修内容】

- 各診療科医師による疾患等の講義(脳神経外科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、精神科、緩和ケア内科など)
- リハビリテーションにおけるリスク管理 ・ 痙縮に対するボツリヌス治療
- 認知運動療法 ・ シーティングポジショニング
- 検査科・放射線科の実務 ・ 臨床工学技士の実務
- 大規模災害における拠点病院の役割
- 豊島病院院長との意見交換座談会

若手PT・OT実務研修受入れ：豊島病院 平成29年度

【研修テーマ】

急性期病院での多岐にわたる疾患に対する知識とリハビリテーションを学ぶ

【期間】

平成29年10月2日(月)～10月16日(月)の全10日間 PT4名の計4名

平成29年11月6日(月)～11月17日(金)の全10日間 PT3名、OT1名の計4名

平成29年12月4日(月)～12月15日(金)の全10日間 PT3名、OT1名の計4名

【研修内容】

- ・各診療科医師による疾患等の講義。
- ・急性期リハビリテーションの流れ（ICU、HCU、SCUなど）

リハビリ相談・リハビリ出前相談

リハビリ相談

- リハビリテーションに関連する施設に従事している方々を対象に、主に医療面でのリハビリテーションに関する相談をお受けします（FAX、メール）。

リハビリ出前相談

- 普段担当している利用者のごことで、困っている点、疑問に思っている点などに対して、豊島病院リハビリテーション科の医師（専門医）、PT、OT、STが地域の**事業所等に出向き**、カンファレンスや勉強会に参加して、具体的事例についてアドバイスします。
- リハビリテーションスタッフのみならず、看護師、事業所のヘルパー、ケアマネジャー、相談員、介護職員など、あらゆる職種の方からの相談をお受けします。少人数でもOKです。

区西北部地域リハマップ(webサイト)

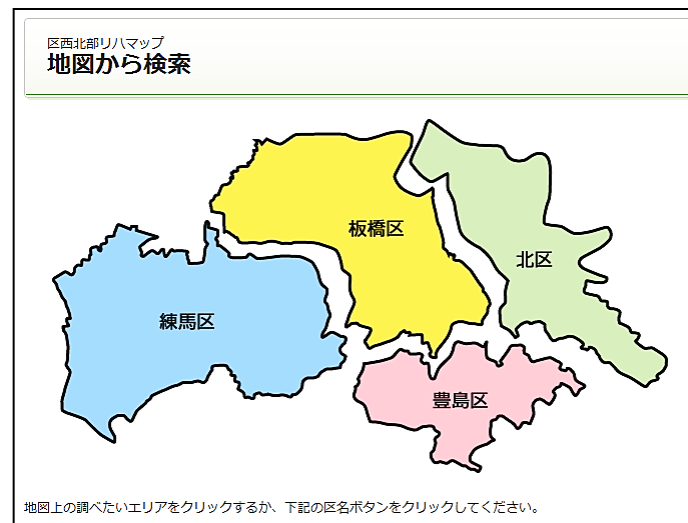
<https://www.toshima-hp.jp/riha-center/index.html>

●区西北部二次保健医療圏
(豊島区、北区、板橋区、練馬区)
の医療機関、施設を検索できます。

●検索方法:
施設種別・リハビリ内容・
地図からの検索

●施設の基本的な情報のほか
利用者の対象、提供できる
リハビリテーションの内容、
その施設の特色あるサービス等を
掲載しています。

●会員登録が必要です。



板橋区脳卒中懇話会リハビリテーション部会

- 板橋区脳卒中懇話会の下部組織で、平成24年8月設立。
懇話会所属のリハビリ職種の代表者がメンバー。
- 急性期・回復期・生活期の施設のリハビリスタッフの、より一層の情報交換・共有を図ることを目的。
- 活動：
 - ・研修会の開催
 - ・症例検討会の開催：急性期から在宅まで懇話会所属施設で完結した症例の検討。
 - ・座談会の開催：連携に関する、グループワーク、意見交換。
 - ・板橋区脳卒中連携ハンドブック(関連施設情報紹介冊子)の発刊。
 - ・脳卒中患者実態調査(回復期リハビリ病院)実施の協力。

2016年脳卒中患者実態調査(回復期リハビリ病院)より

全国データとの比較

	全国データ*			板橋区脳卒中懇話会		
	入院時	退院時	入退院時の差	入院時	退院時	入退院時の差
FIM運動項目	46.4±24.2	61.3±26.3	15.0±15.5	42.0±22.5	61.7±26.2	19.4±17.7
FIM認知項目	22.1±9.4	24.9±9.1	2.7±4.7	19.8±8.6	23.8±8.7	3.49±5.2
FIM合計	68.5±31.5	86.2±33.9	17.7±18.2	61.8±29.0	85.5±33.6	23.5±20.1
運動FIM効率 中央値	0.16			0.18		
平均入院日数	88.2日			104.9日		
自宅退院	64.50%			65.90%		
在宅系施設	9.30%			9.41%		
在宅復帰率	73.80%			75.30%		

*回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書(平成27年度データ)

高次脳機能障害支援普及事業 (専門的リハビリテーションの充実事業)

【概要】

- ・東京都が地域リハビリテーション支援センター等に委託して実施している事業。
- ・地域の様々な場で行われる高次脳機能障害のリハビリの質の向上と関係機関等の連携を進めることにより、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図ることを目的。

高次脳機能障害支援普及事業

(専門的リハビリテーションの充実事業)実施状況



区西北部

高次脳機能障害支援普及事業

地域での高次脳機能障害者のリハビリの質の向上と関係機関等との連携を推進、切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図る目的で以下の事業を実施

1. 専門相談窓口（アドバイザー）の設置

- 個別支援に対する相談、リハビリ技術等に関する助言・指導
- 高次脳機能障害の診断、専門的評価および専門医療機関等の紹介

2. 地域の高次脳機能障害支援関係機関のネットワーク構築

- 圏域連絡会・症例検討会の実施
- 東京高次脳機能障害者実践ネットワークとの協力、連携
- 連絡会等への参加
- 高次脳機能障害マップの作成

3. 障害の理解や支援に関する専門知識・技術の学習支援

- 研修の実施、支援

4. 地域のニーズに合わせた支援

専門相談窓口(アドバイザー)の設置

高次脳機能障害支援 相談窓口開設のご案内

豊島病院では、東京都の委託を受け、平成26年4月より

高次脳機能障害の支援者及び支援機関向けの相談窓口を開設しております。

リハビリでどのくらい
機能は回復するの？

高次脳機能障害の
適切な診断・評価は？

高次脳機能障害者へは
どんな対応が必要？

どんな福祉制度が
使えるの？



！高次脳機能障害に関する専門アドバイザーが対応致します！

【対象者】 板橋区・豊島区・北区・練馬区で高次脳機能障害者の支援に

係っている医療機関、行政機関、福祉・介護 等関係事業者の方々

【相談窓口】 豊島病院 地域医療連携室 高次脳機能障害支援 相談窓口

対応時間：月～金曜 午前9時～午後5時(祝日を除く)

メール又はFAXでお問い合わせください。

メールアドレス：toshima_koujinou@tokyo-hmt.jp

FAX番号：[03-5944-3534](tel:03-5944-3534)

相談対応アドバイザー：

リハビリ科医師

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

医療ソーシャルワーカー

相談内容：

疾病・障害について

状態の変化について

機能維持リハビリ

医学的判断などについて

生活・社会復帰や福祉制度について

その他

相談受付：

TEL・FAXにて

(パンフレット裏面に相談依頼票)

区西北部 高次脳機能障害支援普及事業

圏域連絡会メンバー

- 豊島区：心身障害者福祉センター
- 北区：障害福祉課
障害者福祉センター
- 練馬区：心身障害者福祉センター
- 板橋区：福祉部障害者福祉課

- 東京都：福祉保健局精神保健医療課
心身障害者福祉センター地域支援課

- 豊島病院：リハDr、PT、OT、ST、MSW、事務局

症例検討会

アドバイザーとして参加

- 板橋区自立支援協議会高次脳機能障害部会
平成28年10月4日 会場:板橋区グリーンホール
「老健入所中の事例」
アドバイザー:リハ科医師
- 練馬区中途障害者支援事業 事例検討会
平成29年2月18日 会場:サンライフ練馬
「高次脳機能障害者支援 事例を通して考える」
アドバイザー:リハ科医師

連絡会等への参加

- 豊島区高次脳機能障害者支援連絡会
- 北区高次脳機能障害者支援連絡会
- 板橋区言語聴覚士連絡会
- 板橋区高次脳機能障がい関係者連絡会
- 板橋地域自立支援協議会 高次脳機能障害部会

医師・PT・OT・ST・MSWが参加

講演会

区西北部地域リハビリテーション支援センター 共催
東京都高次脳機能障害者支援普及事業

講演会

テーマ

言語聴覚士を襲った
高次脳機能障害～言語障害・
半側空間無視を中心に～

参加費
無料

講師：関 啓子先生

プロフィール・講演内容

言語聴覚士ST、医学博士。神戸大学客員教授、三鷹高次脳機能障害研究所所長。国際基督教大学（ICU）・国立障害者リハビリテーションセンター学院卒。STとして30年以上臨床・研究に従事。神戸大学院保健学研究科教授在職時に脳梗塞発症も、10か月で現職復帰。日本脳損傷者ケアリングコミュニティ学会理事、日本高次脳機能障害学会評議員など多数。

講演では発症から現在までの経過を脳梗塞発症直後から記録した資料を交えて述べ、当事者となった専門家の視点からその脳卒中リハビリと想いを語る。



日時 平成28年 **10月20日(木)**
18:30～20:30 (受付18:00～)

会場 **メトロポリタンプラザビル12F**
(入り口：2F)
ステーションコンファレンス池袋 Room1
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1



区西北部高次脳機能障害支援普及事業

講演会

参加費
無料

高次脳機能障害者の主体的生活を支援する
～障害の気づきから就労支援まで～

こまい ゆきこ

講師：駒井 由起子 先生

NPO法人いきいき福祉ネットワークセンター理事長
目黒区高次脳機能障害者支援センター センター長
目黒障害者就労支援センター理事

<職種> 作業療法士(認定作業療法士・認知症専門作業療法士)
介護支援専門員

<学歴> 首都大学東京大学院

保健科学研究科精神機能障害作業療法学専攻卒業

<職歴>

精神病院勤務を経て、目黒区社会福祉事業団心身障害者センターにて脳卒中や脳外傷の高次脳機能障害者の支援に関わる。2005年にNPO法人いきいき福祉ネットワークセンター設立、高次脳機能障害と若年性認知症のためのデイサービスや就労継続支援B型事業所などを立ち上げ、対象者と共にリハビリテーションを実施しながら、総合専門施設の運営に取り組んでいる。

日時

平成29年 **7月7日(金)**
18:30～20:30 (受付18:00～)

会場

メトロポリタンプラザビル12F (入り口：2F)
ステーションコンファレンス池袋 Room1
東京都豊島区西池袋1-11-1

「高次脳機能障害に関する手続きパンフレット」発行

区西北部の各区分(豊島区、北区、練馬区、板橋区)の各種手続き窓口について案内。関係機関等へ配布。

練馬区

板橋区

北区

豊島区

困った時は、ここに相談！

発病・受傷

国民健康保険
↓
国保年金課 保険給付係
Tel.3579-2404

後期高齢者医療
↓
後期高齢医療制度課 資格給付グループ
Tel.3579-2373

【医療費・所得補助】

● **高額療養費**
支払った医療費が高額の場合、申請により限度額を超えた分が戻ってくる制度です。

● **限度額適用認定証の交付**
申請により「限度額適用認定証」の交付を受けることで、入院や高額な外来診療を受けた場合、窓口での支払いが自己負担限度額のみで済むようになります。

● **限度額適用・標準負担額減額認定証の交付**
住民税非課税世帯の場合は、申請により「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けることで、保険診療分の自己負担額が軽減されます。

● **交通事故(自動車損害賠償責任保険)**
自動車事故の被害者の救済制度
↓
加入している自動車賠償責任保険会社

● **労働者災害補償保険**
業務中や通勤上の事故と認められた場合、適応される制度
↓
勤務先(総務部など)

● **傷病手当**
病気や怪我等で休業の方とそのご家族の生活を保障するための制度、休業の4日目から支給されます。

保険者が全国健康保険協会
↓
協会けんぽ(旧社会保険事務所)の都道府県支部

保険者が健康保険組合
↓
それぞれの健保組合

保険者が共済組合
↓
それぞれの共済組合

● **自立支援医療**
事故や病気に伴う精神障がいにより継続的に精神科通院治療が必要な場合、医療費の自己負担が原則1割になる制度
↓
健康福祉センター(裏面参照)

● **介護保険サービス**
65歳以上の方、もしくは医療保険に加入している40~64歳の方で脳血管疾患などの特定疾病により介護が必要と認定された方(介護保険制度全額のこと)
↓
介護保険課 管理相談係 Tel.3579-2357
介護保険課 認定係 Tel.3579-2441

● **障害者手帳**
精神障害者保健福祉手帳あるいは身体障害者手帳を取得できる可能性があります。
下記の窓口で申請が必要です。手帳を取得することで様々なサービスを利用しやすくなります。

精神障害者保健福祉手帳 ↓ 健康福祉センター(裏面参照)	身体障害者手帳 ↓ 障がい者支援係 Tel.3579-2460
	障がい者支援係 Tel.3938-5118
	志村福祉事務所 障がい者支援係 Tel.3968-2337

● **障害福祉サービス**
障害支援区分の認定結果により、ヘルパーによる家事援助や施設利用などのサービスが受けられます。

板橋福祉事務所 ↓ 赤塚福祉事務所 ↓ 志村福祉事務所	障がい者支援係 Tel.3579-2460
	障がい者支援係 Tel.3938-5118
	障がい者支援係 Tel.3968-2337

● **障害年金**
障がいの状態や年金保険料の納付要件、年齢などによって、障害年金を受給できる可能性があります。
障がいを負ったときに加入していた年金の種類によって、受給できる年金が異なります。
初診時に国民年金に加入されていた方
↓
国民年金課 国民年金係 Tel.3579-2431

初診時に厚生年金に加入されていた方
↓
年金事務所

概ね6ヵ月後

概ね1年6ヵ月後

障がいの程度や年齢などにより、利用できるサービスは異なります。サービスの利用には、必ず各窓口で申請する場合があります。必ず障がい認定申請を申し出ていただき、お住まいの区市町村に相談してください。お問い合わせは、お住まいの区市町村の福祉課(障害福祉課)までお願いします。お問い合わせ先は、お住まいの区市町村の福祉課(障害福祉課)までお問い合わせください。

高次脳機能障害のある方の手続きリーフレット

頭部外傷・脳血管障害を発症されたご本人・ご家族の方へ

どこに相談したらいいの？

どんな制度があるの？

経済面で不安

手続には何が必要なの？

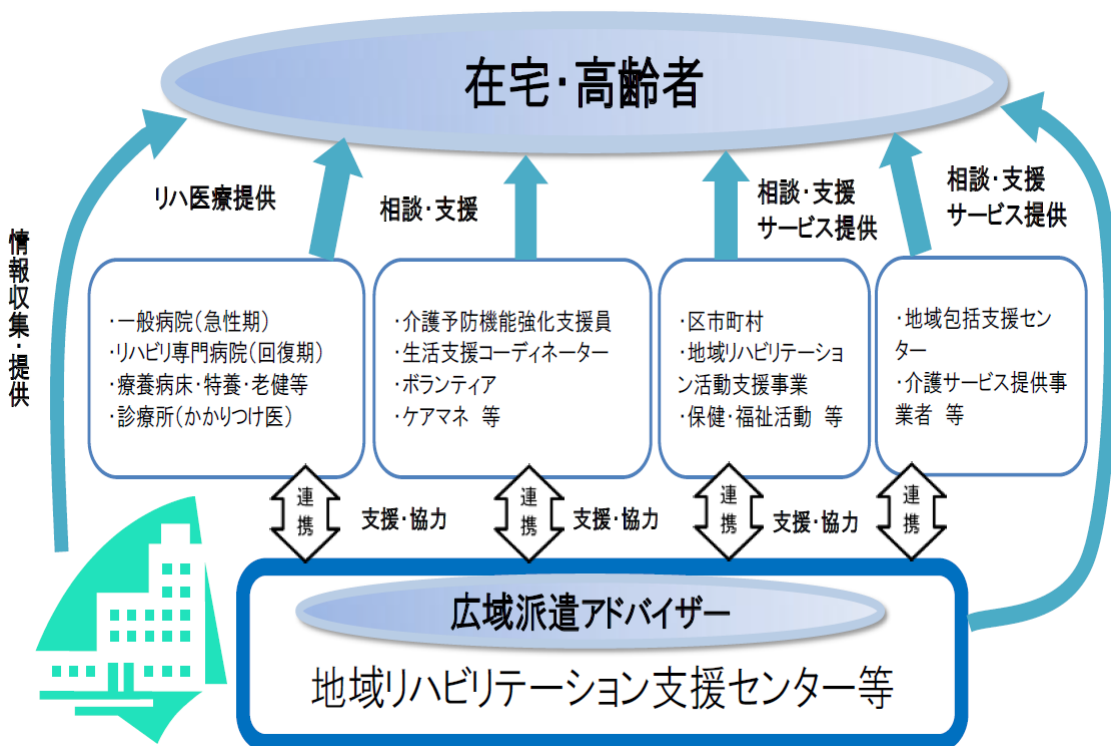
障害者手帳の申請方法は？

介護保険は利用できるの？

病気やケガなどが原因で脳が損傷されたために、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。病気やケガなどの後遺症でこれまでできていた事ができなくなったり、能力が低下してしまっただけではありませんか？手続の流れ、経済面や支援制度などの社会保障にはこんな制度があります。

介護予防における地域リハビリテーション促進事業 地域リハビリテーション推進広域派遣アドバイザーの設置

リハビリテーション専門職等を生かした効果的な介護予防を推進し、要支援者等の自立支援に資する取組の強化を図ることが目的。
・都の指定病院にアドバイザーを設置して区市町村を支援する。



【H27年度 4圏域】

【H28年度 7圏域】

【H29年度12圏域】

豊島病院はH29年度
事業委託

板橋区における取り組み

- 板橋区高齢者等地域リハビリテーション支援事業に対する支援
 - ・地域リハサービス調整会議への助言者としての参加
- 板橋区地域リハビリテーションネットワーク設立・活動への支援

板橋区高齢者等地域リハビリテーション 支援事業に対する支援

地域リハサービス調整会議

- リハに関する課題を持つ事例を地域包括支援センター（包括）から提示してもらい、リハ科医師を含むリハ専門職と関係者間で検討し、自立支援に向けた取り組みの向上やリハにかかわる課題の把握を目的に行う地域ケア会議。
- 参加者は包括職員、訪問・通所のリハ専門職。
- 地域リハ支援センターの医師・リハ職が助言者として参加。
- 平成28年度は4回実施。

地域リハサービス調整会議の様子



- ・毎回、地域リハ支援センター医師が助言者として参加。
- ・多職種の参加者と討論。
- ・リハ専門職と介護支援専門員との意見交換の場として有益であった。

板橋区地域リハビリテーションネットワーク (いたリハネット)

板橋区のリハ専門職による地域づくりを応援する自主活動団体。H28年5月設立。

【目的】

区内在住・在勤の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の力を結集して、板橋区の地域住民がいつまでも安心安全で健やかに暮らせるように、住民を主体とした予防や自立支援活動を療法士の専門性を活かしてサポートすることです。

また、地域包括ケアシステムに関わる方々と連携を図り、地域リハビリテーションの普及啓発、必要な会議への参加、個別相談等を積極的に担い板橋区独自の地域づくりを応援していきます。そのためにも、定期的な研修会等を通して、療法士自身の質の向上を図っていきます。

現在ある4つの部会

介護予防
部会

通所部会

訪問部会

言語聴覚
士部会

介護予防部会事業（平成28年度）

●定例会8回実施

① 福祉の森サロンへの支援

- ・介護予防プラス講座の実施
- ・介護予防出前講座のメニュー作成
腰痛、認知症、転倒、立ち上がり、
アクティビティ、嚥下

② 介護予防関連イベントへの参加、講師

- ・いたばし福祉用具フェア
- ・健康やる気交流会
- ・介護予防ケアマネジメント研修会



通所部会事業（平成28年度）

●年4回の定例会議の実施

- ① 板橋区内の通所系リハサービスの情報収集
 - ・通所リハビリ事業所紹介一覧表の作成
 - ・リハ職が在籍する通所介護事業所の把握

- ② 小地域ケア会議への参加に関する整理
 - ・地区別担当相談窓口の設定

- ③ その他（事業所間の情報共有、見学会、勉強会など）
 - ・実地指導報告
 - ・持ち回りでの施設見学会
 - ・研修の実施

訪問部会事業（平成28年度）

●定例会議の実施（10回）

① 訪問リハビリテーション普及・啓発活動

- ・訪問リハビリテーションパンフレット作成（地域住民・ケアマネジャー向け）
—事業所名簿作成、訪問リハビリテーションの事例紹介
- ・病院・施設セラピスト向け同行訪問見学会検討、実施（4件）

② 地域連携の体制作り

- ・相談事業の実施方法の検討、担当エリア分け
- ・小地域ケア会議の参加、担当窓口作り

●研修（2回）

- ・「これからの地域リハビリテーション介護予防と生活支援について」
- ・「激動！！医療介護保険改訂2018」



言語聴覚士部会事業（平成28年度）

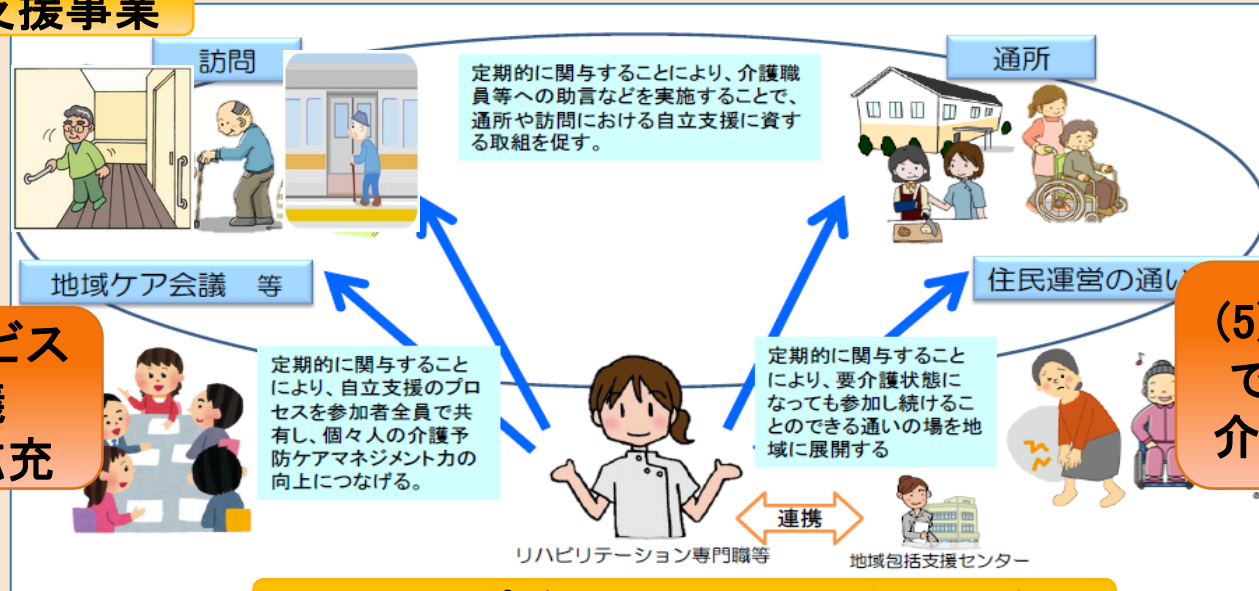
●定例会（3回）

- ① 『失語症会話パートナー養成事業』
『自立支援協議会高次機能障害部門』への協力
・講師の育成やバックアップ
- ② 板橋区内STの情報共有と資源の見える化
・STが在籍している医療機関、介護保険事業所のマッピング
- ③ 介護予防出前講座内容の検討
・口の健康チェックリストの作成
・嚥下に関する講座の検討

板橋区高齢者等 地域リハビリテーション支援事業

(1)地域リハビリテーション連携会議

(2)相談支援事業



(3)リハサービス 調整会議 参加者の拡充

(5)福祉の森サロ ンでのリハ職による 介護予防推進事業

(4)シンポジウム・ケアマネ向け研修

サポート

支援

板橋在住のリハ職の自主組織
「板橋区地域リハビリテ
ーションネットワーク」

支援

区西北部地域リハビリテーション
支援センター 豊島病院

区西北部地域リハビリテーション 支援センター協力施設（平成28年度～）

区西北部二次医療圏全域において、より充実した事業展開を図るために、28年度再指定。

- 豊島区：長汐病院
- 北区：東京北医療センター
大橋病院
- 練馬区：辻内科循環器科歯科クリニック
練馬駅リハビリテーション病院
- 板橋区：竹川病院
板橋区おとしより保健福祉センター

地域リハビリテーション支援センターの 今後の活動

従来の活動を継続しつつ、再編成した各区の協力施設との連携を密にとりながら、地域のニーズに合った支援を行う。

●介護予防における地域リハビリテーション促進事業 (広域派遣アドバイザー設置)

1年間の事業ではあるが、各区の協力施設や地域のリハ専門職と連携をとり、介護予防に対する普及啓発、技術的助言、リハ専門職の派遣等の支援を行う。そして、自主的な活動への移行を促進できるよう、支援していく

板橋区:

・福祉の森サロンへの支援(いたリハネット介護予防部会)

介護予防プラス出前講座

住民運営の通いの場 立ち上げ支援

・介護予防に向けた「地域リハサービス調整会議」と「訪問相談」の実施(板橋区)

地域リハビリテーション支援センターの 今後の活動

●平成29年度生活期のリハ・ケア推進シンポジウム

日時:平成29年11月25日(土) 13:30~17:30

場所:板橋区グリーンホール2階ホール

テーマ:これからの介護予防

~介護予防による地域づくりにどう関われるか?~

・基調講演1

「介護予防とは？」

板橋区医師会会長 水野重樹 先生

・基調講演2

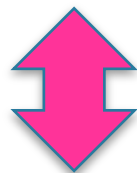
「介護予防による地域づくりとは」

首都大学東京健康福祉学部教授 浅川康吉 先生

・実践事例報告

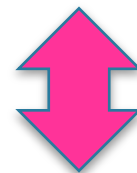
「専門職のスキルを生かした介護予防の取り組み」(4区)

区西北部地域リハビリテーション支援センター： 豊島病院



協力施設

- 豊島区：
長汐病院
- 北区：
東京北医療センター
大橋病院
- 練馬区：
辻内科循環器科歯科クリニック
練馬駅リハビリテーション病院
- 板橋区：
竹川病院
板橋区おとしより保健福祉センター



地域におけるリハ職の自主的活動

- 豊島区：
地域リハ職種連携会議
- 北区：
北区リハビリネットワーク
- 練馬区：
練馬区リハビリテーション従事者
連絡会
- 板橋区：
板橋区地域リハビリテーション
ネットワーク



それぞれの地域のニーズに合った支援の実施へ！

痙縮に対するボツリヌス療法

- 平成22年から保険適応となる。
- ボツリヌス菌が産生するボツリヌストキシンを筋肉内に注射。
- 神経筋接合部に作用し、アセチルコリンの放出を抑制。
神経筋伝達を阻害して筋収縮力を低下させ、筋痙縮を改善。
- 効果は注射後2～3日目から徐々にあらわれ、通常3～4か月持続。リハビリテーションを併用することで効果の更なる持続が期待できる。
- 「脳卒中治療ガイドライン2015」（エビデンスレベルグレードA）
『上下肢の痙縮に対しボツリヌス療法が強く勧められる』
上肢 240単位 下肢 300単位
複数の部位への投与 360単位

痙縮に対するボツリヌス療法：適応例

●上肢：

- ・手指が握ったままとなり開こうとしても開きにくい。
 - 手掌部に爪がくい込んで痛い。
 - 手掌部がよく洗えず不衛生。
- ・動作をすると肘が曲がってしまう。
 - 上着を着るとき腕が引っかかってしまい着づらい。
 - 歩行時の見た目が悪い。
- ・不全麻痺患者で指を開くとき抵抗があり、動作が行いづらい。

●下肢：

- ・歩行時、足先がよくひっかかり、転びやすい。
- ・歩行時、足の外側から床についたり、膝がつっぱってしまい不安定。
- ・靴の中で足指が曲がって痛い。
- ・下肢がはさみ足となり、おむつ交換が行いづらい。

経済的問題

ボトックス®は100単位84,241円、50単位47,154円（H28.4月）

投与量	1割負担	3割負担
上肢最大240単位	2万円強	7万円弱
下肢最大300単位	3万円弱	8万円弱
上下肢最大360単位	3万円強	10万円強

- 自己負担についての説明をする必要あり。
- 身体障害者手帳での医療費助成あり。
（一般的には1、2級に限定）

症例提示

痙縮に対するボツリヌス療法

今回のお話

- 地域リハビリテーション支援センターとは？
- 地域リハビリテーション支援センターのこれまでの取り組み
- 板橋区における取り組みの紹介
- 地域リハビリテーション支援センターの今後の活動
- 生活期におけるリハビリテーション医療の一例
痙縮に対するボツリヌス療法

ご清聴ありがとうございました

